

KIF NEWS

2014.2

No. 36

(公財)かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation

ケイアイエフ ニュース

目次

- “多言語医療問診票” をリニューアル…………… 1
- 高校に国際教育の講師を派遣します…………… 4
- 外国人住民総合支援モデル事業フォーラムの案内…………… 4
- 台風30号による被害と支援の状況報告…………… 5
- “かながわ復興支援ネットワーク” が寄付を募集…………… 5
- “かながわ民際協力基金” 助成申請を募集…………… 6
- フィリピン台風被害 緊急支援事業の助成申請を募集 …… 6
- かながわ国際交流財団が提供するお役立ち情報…………… 7
- 「多文化共生メーリングリスト」に参加しませんか
- 多言語情報メール配信サービス「INFO KANAGAWA」 他
- ご寄付のお願い・KIF NEWSが変わります・twitter開設 …… 8

病院でのコミュニケーションの“道具” 「多言語医療問診票」をリニューアル

ウェブサイト「多言語医療問診票 MULTILINGUAL MEDICAL QUESTIONNAIRE」(以下「問診票サイト」)は、当財団のミッションのひとつである「多文化共生の地域社会かながわづくり」を構成する事業のひとつとしてNPO法人国際交流ハーティ港南台との協働のもと運営され、外国人が病院に行くときに病気やけがの症状を医師に伝える“道具”として活用されてきました。

今年度、外国人住民、医療関係者、支援者などの声も伺いながら、より使いやすく大きくリニューアルしています。どのようなところが変わるのかお知らせします。2月上旬に公開予定です。

※このリニューアルは、財団法人自治体国際化協会「平成25年度 多文化共生まちづくり促進事業」の助成を受け実施しました。



■国際交流ハーティ港南台との打合せの様子

各言語のトップページ

リンク先はそれぞれの言語に対応しています。

問診票

各問診票はPDFファイルで作られていて、印刷できます。全部で11の診療科目の問診票があります。

多言語医療問診票

検索

今回の問診票サイトのリニューアルのポイントは4つ。①新しい言語（ネパール語）と科目（精神科）の追加、②診療科目の説明ページの追加、③症状から診療科目が探せるよう工夫、④問診票シートの様式の統一です。

それではリニューアルの詳しい内容をお知らせします。



より便利に！ 言語と科目を追加しました



■問診票サイトのトップページ

外国人住民の増加の状況を反映させて①中国語②韓国・朝鮮語③タガログ語④ポルトガル語⑤スペイン語、⑥ベトナム語⑦英語⑧タイ語⑨インドネシア語⑩カンボジア語⑪ラオス語⑫ドイツ語⑬ロシア語⑭フランス語⑮ペルシャ語⑯アラビア語⑰クロアチア語の17言語に、「⑱ネパール語」を加え全18言語になりました。日本語は各言語に併記しています。

診療科目は①眼科②歯科③整形外科④皮膚科⑤外科⑥耳鼻咽喉科⑦内科⑧産婦人科⑨小児科⑩脳神経外科の10科目にニーズの高い「⑪精神科」が加わり11科目になりました。

「診療科目がわからない」という声に応えました！

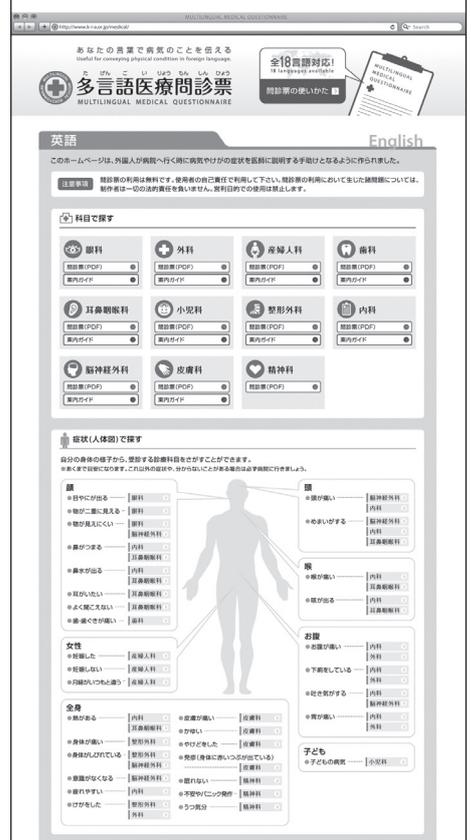


■診療科目の説明があるページ

「出身国と違って、日本には病院の診療科目がいろいろあるけれど、どのような症状のときに、どの診療科目の病院に行けばよいのかわからなくて困る」という、外国人住民の声に応え、診療科目に関する説明を新しく追加しました。

また、問診票サイトの全体を通して、やさしい日本語を使い、なるべく簡潔な文章表現にし、外国人住民にも分かりやすくしました。さらに、印刷用の問診票シートの漢字には、ふり仮名をつけ、漢字が苦手な方にも使いやすくなるよう配慮をしました。

症状から診療科目が探せるようにしました



■各言語のページの例（このページは英語）

問診票サイトのトップページのリンクボタンと各言語のページの基調色を合わせ、ページのレイアウトも余白を十分とり見やすくしました。各診療科目にはアイコンマークを付け一目で科目が区別できるようにしました。

また、各言語のページには人体図を掲載し、健康状態を目安にして診療科目を探せるようにしました。さらに、診療科目の説明があるページへのリンクも設置し、問診票サイトに掲載している情報が効果的につながるように工夫をしました。

ORTHOPEDICS
整形外科問診票

Check if all corresponding answers (すべての回答が正しいかどうか) year(年) month(月) day(日)

Name(氏名) (Male) (Female)
Date of birth(生年月日) year(年) month(月) day(日) Phone(電話)
Address(住所)
Do you have health insurance? (健康保険をお持ちですか?) (Yes/はい) (No/いいえ)
Nationality(国籍) Language(言語)

What is wrong with you? (お悩みはありますか?)
 ◻ Fever 熱 ◻ Pain 痛み
 ◻ Injury けが ◻ Swelling 腫れ
 ◻ Limping 一歩一歩 ◻ Stumbling 躓く
 ◻ Tingling 痺 ◻ Crumbliness 脆い
 ◻ Spain 腰痛 ◻ Weight loss 体重減っている
 ◻ Others その他

How long have you had problems? (お悩みはいつからですか?)
 Since year(年) month(月) day(日)

Have you ever been allergic to medication or food? (薬や食べ物でアレルギーがありますか?)
 ◻ Yes はい ◻ Medication 薬 ◻ Food 食べ物
 ◻ No いいえ

Are you presently taking medication? (薬を飲んでおられますか?)
 ◻ Yes はい ◻ If you have any with you, please show them to me. (薬をお持ちの場合はお見せください) ◻ No いいえ

Are you pregnant or do you have a possibility of pregnancy? (妊娠中か、妊娠の可能性はありますか?)
 ◻ Yes はい ◻ months(月) ◻ No いいえ

Are you currently breastfeeding? (授乳中ですか?)
 ◻ Yes はい ◻ No いいえ

What illnesses have you had in the past? (今までにかかった病気はありますか?)
 ◻ Stomach and intestinal disorder 胃腸病 ◻ Liver disease 肝臓病 ◻ Heart disease 心臓病
 ◻ Tuberculosis 結核 ◻ Diabetes 糖尿病 ◻ Cancer がん
 ◻ High blood pressure 高血圧 ◻ Thyroid problem 甲状腺病 ◻ COPD 肺病
 ◻ Others その他

Are you currently under medical treatment? (治療中ですか?)
 ◻ Yes はい ◻ No いいえ

Have you ever had any operations? (手術を受けたことがありますか?)
 ◻ Yes はい ◻ No いいえ

Have you ever had a blood transfusion? (輸血を受けたことがありますか?)
 ◻ Yes はい ◻ No いいえ

Have you ever had any trouble with anesthesia? (麻酔についてトラブルがありましたか?)
 ◻ Yes はい ◻ No いいえ

Can you arrange an interpreter by yourself from your next visit? (次回からは通訳者を自分で用意できますか?)
 ◻ Yes はい ◻ No いいえ

印刷用の問診票シート

Useful for conveying physical condition in foreign language.

多言語医療問診票
http://www.aaa.bb.or.jp

中文 多语种就医问诊表
한글 다언어 의료 문진표

Tagalog MULTILINGUAL MEDICAL QUESTIONNAIRE
Portugues QUESTIONÁRIO MÉDICO MULTILÍNGUE
Español CUESTIONARIO MÉDICO MULTILÍNGUE
Tiếng Việt PHIẾU CHẨN ĐOÁN Y TẾ ĐA NGÔN NGỮ
English MULTILINGUAL MEDICAL QUESTIONNAIRE
ภาษาไทย แบบสอบถามทางการแพทย์
Indonesian Lembar Pertanyaan Pengobatan dalam Berbagai Bahasa
ភាសាខ្មែរ ប័ណ្ណប្រមូលព័ត៌មានប្រើប្រាស់
नेपाली भाषा बहुभाषिक उपचारको प्रश्न फारम
မြန်မာစာတိုက် မြန်မာစာတိုက်အတွက်
Deutsch MEHRSPRACHIGER MEDIZINISCHER FRAGENBOGEN
русский язык МУЛЬТЯЗЫЧНАЯ МЕДИЦИНСКАЯ АНКЕТА
Français QUESTIONNAIRE MÉDICAL MULTILINGUE
فارسی پرسشنامه پزشکی چندزبانه
العربية استبيان طبي متعدد اللغات
Hrvatski VIŠEJEZIČNI ZDRAVSTVENI UPITNIK

多言語で作成したパンフレット

NPO 法人国際交流ハーティ 港南台の活動を紹介します



子育て支援部会のミャンマーデーでのひとこま

NPO法人国際交流ハーティ港南台（以下「ハーティ」）は、あたたかい心で外国人に接し、共に生きていきたいという思いのもと、1992年に36名の有志が集まり設立された団体です。22年の間に、日本語教室、交流事業、「多言語医療問診票」の制作、海外支援などに取り組んできました。

現在は、交流イベントを企画する「交流部会」、日本語学習の支援をする「日本語部会」、フィリピンへの支援活動に取り組む「海外支援部会」、子育て支援をする「子育て支援部会」、子どもの保育をサポートする「キッズケア部会」の5部会に「多言語医療問診票管理部会」を加え活発に活動をしています。

国際化が進み増えている外国人住民がこれからも安心して住めるまちづくりと、多文化共生をめざして、ハーティは今後も活動していきます。

考えに賛同される方はハーティへ。皆様の参加をいつでもお待ちしております。

- ホームページ
http://heartly-npo.sakura.ne.jp
- 問合せ TEL: 045-871-5287
会長 加藤紀恵

○問診票シートの様式を統一

今回のリニューアルでは、各言語の問診票シートの様式をそろえました。このことにより、印刷したシートの管理が楽になります。印刷したときの品質も向上しました。

○問診票へのリンクとメディア掲載について

問診票サイトへのリンクは自由に設定できます。ただし、できるだけトップページへのリンクをお願いしています。問診票サイトを雑誌やホームページなど各種メディアでご紹介いただける場合は、当財団及びNPO法人国際交流ハーティ港南台の双方にメールで同じ内容をお知らせください。

かながわ国際交流財団

tabunka@k-i-a.or.jp

ハーティ港南台（問診票担当）

heartym@hurryken.com

○より活用していただくために

今回のリニューアルに併せて、外国人住民の方にどのような診療科目の問診票シートがあるのか一目でわかるよ

う、多言語のパンフレットを作成しました。今後、国際交流協会、外国人相談窓口などに配布いたします。

また、医療機関で今まで以上に問診票サイトを活用していただくためにチラシを作成しました。

外国人の患者さんがきた時に
多言語医療問診票
をご利用ください

神奈川県内には、約16万人の外国人住民の方が生活されています。日本語や中国語に不慣れな外国人住民を支援するために、医療を受ける際の不便を軽減している方が多いのではないかと考え、外国人患者さんの医療に寄り添うべく、「多言語医療問診票」をこのたびに制作しました。ぜひ「多言語医療問診票」をご利用ください。ホームページでは、「ことばでつながる」項目で必ず、「海外からの患者さん」項目があります。

外国人患者さんへの対応に役立つ情報（リンク）もついています。

多言語医療問診票サイトはこちら
<http://www.aaa.or.jp/ccc>
多言語医療問診票 検索

ことば
中国語、韓国語、朝鮮語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、英語、タイ語、インドネシア語、カンボジア語、ラオス語、ミャンマー語、フィリピン語、フランス語、ペルシャ語、アラビア語、クロアチア語、キルギス語

科目
眼科、耳鼻咽喉科、内科、外科、整形外科、産婦人科、脳神経科、小児科、皮膚科、歯科、精神科

携帯電話・スマートフォンからはこちらのQRコードを使ってアクセスしていただけます。

医療機関にむけたチラシ

○多くの方々の協力を得て

今回のリニューアルにあたりましては、医療関係者、外国人住民、ボランティアグループ、日本語教室関係者の皆様から多くのご協力や貴重なご意見をいただきました。心からお礼を申し上げます。

多言語医療問診票についてのご意見はこちらまで

今後の運営の参考にさせていただきますので、多言語医療問診票を使ってみた感想、ご意見などはいつでも次の連絡先までお知らせください。

KIF 公益財団法人 かながわ国際交流財団 「多言語医療問診票」担当
Kanagawa International Foundation

住所: 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第一安田ビル4階

TEL: 045-620-0011 FAX: 045-620-0025 Email: tabunka@k-i-a.or.jp



高校に国際教育の講師を派遣します！

～高校国際教育支援事業のご案内～



■NGOのスタッフによる講演会の様子

県内の公立・私立高校の国際理解教育や国際人材育成を支援する目的で、講演会やワークショップ等についてのご相談に応じ、講師を派遣します。派遣にあたっては、これまで蓄積したNGO、外国人住民、学識者やマスコミ等とのネットワークや人材育成セミナー運営のノウハウを駆使して、それぞれの学校の希望に即した講師の紹介から、当日の実施に至るまで、プログラム全体をサポートします。



■ネパール舞踊のワークショップの様子

年間20件募集し、講師への謝礼・交通費は、原則として財団の負担です。今年度分（2013年4月～2014年3月）は好評で、既に全ての募集を終了しましたが、来年度も実施する予定ですのでご活用ください。

- 問合せ：湘南国際村学術研究中心（担当：尾崎）
- T E L : 046-855-1822
- Email : haken@kif.ac

今年度実施した講演会やワークショップの例

講演会	講師・団体
海の向こうの現場から～海外特派員という仕事	朝日新聞社ジャーナリスト
国際協力NGOで働くということ	NPO法人シャプラーニール＝市民による海外協力の会
世界を知る～様々な文化・異文化交流について考える（教職員対象）	細谷早里さん（関東学院大学経済学部教授）
かたちのない大切なもの～難民としての私の経験をもとに	チュン・ティ・トゥイ・チャンさん（ベトナム語通訳）
ワークショップ	講師・団体
世界がもし100人の村だったら	磯野昌子さん（聖心女子大学講師）
ネパール文化に触れる～ネパール多民族舞踊の体験を通して	エンダ・パスネットさん（ネパール舞踊講師）
カカオ農園の子どもたち	かながわ開発教育センター
異文化体験教室～食文化を通してベトナムを知ろう！	レー・レ・トゥイさん（アジア料理サークル代表）

外国人住民総合支援モデル事業

フォーラムのご案内『多文化共生の地域づくり～外国人集住地域の実践から～』



定住化の進む外国人住民が地域で安心・安全に生活するためには、分野や業種を越えた総合的な支援体制づくりが必要です。今回のフォーラムでは、地域社会や行政機関の中で関係者や社会資源をつなげる実践を紹介し、パネルディスカッションを通じて多文化共生の地域づくりについて議論を行います。

- 日時：2014年3月9日（日）
13：30～17：00
- 会場：神奈川県国会館7階 ホール（横浜駅西口から徒歩5分）
横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1

- 定員：30名（先着順）
- 講師：川口祐有子さん（NPOまなびや@KYUBAN）／廣野美賀子さん（横浜市中区役所国際サービス員）／鈴木江理子さん（国士舘大学准教授）

●構成及び内容：

I 事例報告

「かながわに住む外国人住民の今～モデル事業の実践から見えてきたこと～」

II 実践報告

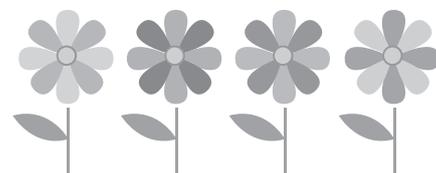
- 【1】「人と人をつなげて地域を変える 愛知・名古屋・九番団地での実践から」
- 【2】「異なる部署や資源をつなげる横浜市中区役所での実践から」

III パネルディスカッション

講師全員でパネルディスカッションを行います。

- 申込方法：名前、連絡先（電話またはメールアドレス）、所属を下記までお知らせ下さい。メールは、件名を「モデル事業フォーラム申込み」としてください。

- 申込み・問合せ：多文化共生・協働推進課（担当：富本）
T E L : 045-620-0011
F A X : 045-620-0025
Email : tabunka@k-i-a.or.jp



台風 30 号によるフィリピンの被害と支援の状況報告

神奈川県を拠点に活動し、長年に渡りフィリピンへの支援活動に取り組んでいる NPO 法人“草の根援助運動”に台風 30 号によるフィリピンの被害と支援の状況に関する報告を寄せていただきました。



■サマル島の漁村被害。電柱も家も流された。

2013年11月上旬にフィリピンを襲った台風30号（ハイエン）は、フィリピンに甚大な被害を及ぼしました。中部の44州において計11,939ヶ村で被害が確認されており、12月27日現在で死者6,111人、行方不明者1,779人、怪我をした人28,626人となっています。

“草の根援助運動”のフィリピンにおけるパートナーNGO“フィリピン農村再建運動（PRRM）”は被災直後に緊急支援を開始。マニラ首都圏のケソン市本部事務所に届けられた段ボール70箱、1,000kgにおよぶ食料、衣類、医薬品などの支援物資を、運送会社の助けを借りて被災地西ネグロス島の西ネグロス事務所に搬送、現地ユースチームとボランティアがパッキングして、人々の元へと届けました。



■パナイ島カピス州の支援事務所で、おりの雨の中、支援キットの積み込み。各国ボランティアも協力した。

現地の活動に呼応して、“草の根援助運動”は緊急資金を送る一方、国内で募金活動をスタートさせ、支援を呼びかけました。

現地では、緊急支援と併行してPRRM

スタッフが各地で調査を行い、サマル島に入ったドンドン・アガトン氏は、次のように報告してきました。

台風の直撃した地域ではほぼすべての家が破壊され、柱だけが残っている状態。住民らはスクラップをかき集めて住む場所を確保している。

パラングガ町では3,186軒中2,986軒が全壊。13人死亡、5人行方不明。ギボーロス町では3,917軒中2,700軒が全半壊。12人死亡、5人行方不明。ケナポンダン町では2,115軒が全半壊。10人死亡。3町の住民の20%が近隣地域に避難中。セブ西サマル州全体で76,369軒全半壊。252人死亡。行方不明40人。負傷7,633人。

漁船および漁具は全損。漁民は現段階まで漁はできていない。ココナツの木は沿岸でも高地でも全損。耕耘機、脱穀機、穀物乾燥機等の農具も失われ、被害の少なかった近隣の大きな町やマニラ首都圏を目指して移住しようとしている人が多く、避難先での混乱が予想される。



■サマル島の漁村。住む家を確保するために、がれきをかき集める。

緊急支援が一段落した11月下旬、PRRMは、アクラン州、カピス州、イロイロ州など7州で次の段階の活動を開始。いまだに住宅も確保できていない人々が多く、限られた資金の中で出来る限り必要な人々に物資を届けるために、次のような基準で支援すべき家を選定しました。

1. 全壊した家
2. 低所得
3. 別地域の親族からの支援が期待できない
4. 他団体からの支援を受けていない

その中でも、女性だけの家、病気や障害を持った家族を抱えている家、高齢者・2歳未満幼児を抱えた家、あるいは15歳未満の子どもを四人以上抱えている家を優先することにしました。

パナイ島・カピス州では、緊急設置した支援事務所に購入した物資を搬入し、現地ボランティアの応援を得て、ハンマー、ペンチ、釘、防水シートなどの仮設シェルター設置支援物資をパッキングし、大型トラック7台にこのシェルターキットを積み込みました。ピラール町とパレテ町の配付場所に集まった5,000家族にこれを配りました。また、各村にもスコップやのこぎり、ソーラー充電機と大型ランプなどを寄付しました。

最低限の衣食住だけはなんとか確保できるようにりましたが、生計手段の確保、漁具や農具の支援、資源の回復、心理的なケアなど、すべきことはたくさんあります。草の根援助運動は、1月にもスタッフを派遣、これから1年かけて人々が自立的に生活できるための復興支援に取り組んでいきます。

■NPO法人草の根援助運動（P2）：1990年、ODAを問う国際会議から生まれた国際協力NGO。磯子区に事務所を置き、インド・インドネシア・フィリピンの人々と共に、真に必要な人々に届く支援を続けてきた。国内向け開発教育事業、スタディツアー事業なども実施している。
<http://p2aid.com>

■フィリピン農村再建運動（PRRM）：1952年創立のフィリピンでもっとも長い歴史を持つNGO。NGOのリーダー的存在であり、理論と実践の両面で、世界のNGOに影響を与えてきた。現在もフィリピン各地の13州で持続可能で平等な社会を目指して活動を展開している。
<http://prrm.org>

“かながわ復興支援ネットワーク”が寄付を募集！

県内の国際協力NGO、地域国際化協会等と県民、市民が手を取り、海外の被災地の支援に取り組む仕組みである「かながわ復興支援ネットワーク」では、大型台風ハイエンの被害に対して復興支援活動を実施しているNPO法人草の根援助運動を応援します！お預かりした募金は、同法人の現地パートナーであるPRRMを通して、被災した人たちの復興支援のために使われ、被災者たちの長期的な復興支援を応援していきます。当財団はこの「かながわ復興支援ネットワーク」に参加しています。

募金活動にぜひご協力ください（2014年2月末まで実施）

- 振込先：郵便振替口座 口座番号 00210-2-134281
- 加入者名 かながわ復興支援ネットワーク

- かながわ復興支援ネットワーク・フィリピン台風被災地復興支援のホームページ

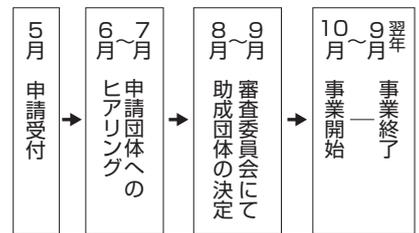
<http://ynn-ngo.org/haiyan/index.html>

※本プロジェクトの趣旨に基づき、支援する団体が、今後追加となる可能性があります。

“かながわ民際協力基金” 助成申請を募集

受付期間 2014年5月1日～2014年5月31日 ※当日消印有効
申請の相談はいつでも受け付けています。

申請から事業実施までの手順



“かながわ民際協力基金”は、貧困と飢餓、環境、人権、平和など、地球規模の課題の解決と「共に生きる」開かれた地域社会づくりをめざして1993年に設置されました。これまでに約1億3千万円の助成を行い神奈川県内のNGO活動の推進の一助となっています。

I かながわ民際協力基金助成事業

●助成の対象となる事業

(1) 海外協力事業

海外の開発途上地域において、福祉・生活環境の向上、環境保全、教育、人権保護等の課題に、地域住民と共に取り組む草の根レベルの協力活動



■ネパールでの教師トレーニングのひとこま
写真提供：(特活)地球の木

(2) 国内協力事業

県内において、外国人住民等の人権を守り、異なる文化を互いに認め合いながら「共に生きる」地域社会を実現するための協力活動

(3) 担い手育成事業

県内の「民際協力の担い手」を育成する活動

(4) 団体活動充実事業

NGOの組織の自立や、スタッフ研修やプロジェクトの事前調査など、活動のレベルアップを図るための活動

(5) 緊急支援事業

国内外の大規模な災害等の発生に伴い実施する緊急支援活動

●助成上限額（助成対象経費の2分の1以内）

- ① 200万円以内（海外協力、国内協力、担い手育成事業）
- ② 50万円以内（団体活動充実事業）

※緊急支援事業は申請内容により決定します。

II 多文化共生の地域社会づくり応援事業

●助成の対象となる事業

持続可能な多文化共生の地域社会かながわの基盤づくりを推進するための小規模な活動

●助成上限額 20万円以内（全額を助成します。）

■上記IとIIの両方に共通すること

●助成申請資格

「民際協力」の理念を理解し、地域の民際協力活動の推進に積極的に参加、協力している団体で、原則として次の1～3のいずれかに該当するNGO（市民による国際協力団体／法人格は問いません）。

- 1 神奈川県内に活動の拠点を有するNGO
- 2 神奈川県内に多数の会員を有するNGO
- 3 主に神奈川県内で活動するNGO

●申請受付期間

2014年5月1日～5月31日（当日消印有効）

※持参は17：15までに事務所に届けてください。

●資料や申請書の入手

ホームページからダウンロードできます。

●実施期間

その年の10月1日から翌年9月末日までの間に始まり完了する事業。I - (5)の「緊急支援事業」はこの限りではありません。

フィリピン台風被害 緊急支援事業の助成申請を募集中

（公財）かながわ国際交流財団は、国内外の大規模な災害などの発生にともない、NGO等の実施する緊急支援活動経費（復興支援を含む）に対し、助成申請を随時受け付けています。2013年11月に発生した超大型台風によるフィリピン中部の被災地への支援活動も対象になります。助成にご関心のあるNGO等の方は、検討段階で事務局までご相談ください。

●助成申請資格

「かながわ民際協力基金」の助成申請資格と同じ。

●助成の相談・問合せ

KIF 公益財団法人 かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation

「かながわ民際協力基金」担当

住所：〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第一安田ビル4階

TEL：045-620-0011 FAX：045-620-0025 Email：tabunka@k-i-a.or.jp

●助成の対象となる活動

国内外の大規模な災害などの発生にともないNGO等が実施する緊急支援活動（復興支援を含む）。

●助成額について

金額は申請内容と応募数によります。

●その他

- ・募金活動は助成の対象外とします。
- ・申請は随時受け付けていますが、申請を検討している場合は、早めにご相談ください。

かながわ国際交流財団が提供するお役立ち情報

かながわ国際交流財団は、多文化共生の基盤整備に役立つポータルサイト「かながわ・こみゅにてい・ねつとわーく・さいと（略称：KCNS）」を運営しています。このページに掲載している情報は全てKCNSから手に入れることができます。多言語情報、イベント情報などを含む多文化共生に関する情報も随時追加しています。ぜひブックマークに登録してください。



“情報共有の仕組みです”

「多文化共生メーリングリスト」に参加しませんか



「かながわ多文化共生メーリングリスト」は、「外国につながる子ども」への支援に関すること、多言語情報に関すること、多文化共生の地域社会づくりに関することなど多文化共生に関する情報をインターネット上で共有・交換していくための仕組みです。あらかじめ登録された参加者が送った1通の電子メールが、その他の登録者全員に届けられます。

- 主な対象者：神奈川県内のNGOスタッフ、国際交流協会・ラウンジ職員、日本語教室ボランティア、日本語指導協力者、教員など。※県外の方も情報交換のために参加可能です。
- 利用登録のながれ：タイトルを「多文化メール」として、①登録を希望するメールアドレス、②名前（ふりがな）、③所属についての紹介文を当財団にメールでお知らせください。当財団は、利用登録を行うとともに、いただいた3つの情報をメーリングリストで公開し、新しい参加者を全員に紹介いたします。その後、メーリングリストでの情報交換ができます。
- 問合せ・申込み
 多文化共生・協働推進課 「多文化共生メーリングリスト」担当
 TEL：045-620-0011 Email: tabunka@k-i-a.or.jp
 http://www.k-i-a.or.jp/kcns/tabmail

情報流通の輪をひろげよう！支援者の方もぜひご登録ください！

多言語情報メール配信サービス「INFO KANAGAWA」

多言語情報メール配信サービス INFO KANAGAWA

通过电子邮件用多语种发送信息的（INFO KANAGAWA）免费服务
 "INFO KANAGAWA" Servicio Informativo Multilingüe emisión por mail
 Serviço de envio de informações via mail em vários idiomas "INFO KANAGAWA"
 "INFO KANAGAWA" Naghahatid ng mga Impormasyong nakasalin sa iba't-ibang wika sa pamamagitan ng E-mail.
 Multi-lingual Information Delivery Service "INFO KANAGAWA"

無料
 免费
 GRATIS
 LIBRE
 FREE

登録方法 登録方法 Modos de registrarse Método de cadastro:
 Para un mail en japonés: Registration methods
 Para un mail en español: Registro de información
 Para un mail en portugués: Registro de informação
 Para un mail en inglés: Registro de informação
 Para un mail en chino: Registro de información
 Para un mail en tagalog: Registro de información
 Para un mail en vietnamita: Registro de información

Smart Phone / PC
 http://www.k-i-a.or.jp/shuppan/info_kanagawa.html

Mobile Phone
 http://www.k-i-a.or.jp/shuppan/info_kanagawa.html

公益財団法人 かながわ国際交流財団
 Kanagawa International Foundation
 TEL: 045-620-0011 FAX: 045-620-0005
 E-mail: info@kanagawa-k-i-a.or.jp URL: http://www.k-i-a.or.jp/
 〒221-0205 神奈川県横浜市神奈川区日吉第2-2-13 新日吉ビル4階
 Kanagawa-ken, Yokohama-shi, Kanagawa-ku, Tsunaya-cho 2-218 Daiichiyasuda bldg 4F

多言語情報メール配信サービス「INFO KANAGAWA（インフォ カナガワ）」は、神奈川県内のお知らせやイベントを月4回程度、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、英語、日本語でメール配信するサービスです。携帯電話、スマートフォン、パソコンなどで受信ができます。

- 配信される主な内容：①行政からのお知らせ（すまい、教育、福祉など）、②防災情報（災害への備え、緊急時の連絡先、緊急時の対処法など）、③保健情報（健康ニュース、予防接種、感染症情報、医療通訳など）、④多言語情報（相談窓口、通訳、多言語の資料、ウェブサイトの紹介）、⑤イベント情報（県国際交流イベント、観光ガイドなど）
- 登録のながれ：ホームページの登録フォームから申し込むことができます。また、①登録希望のメールアドレス、②希望する言語を書いてメールで申し込むこともできます。
- 問合せ・申込み
 多文化共生・協働推進課 「INFO KANAGAWA」担当
 TEL：045-620-0011 Email: infokanagawa@k-i-a.or.jp
 http://www.k-i-a.or.jp/shuppan/info_kanagawa.html

かながわ国際交流財団へのご寄付のお願い

当財団では、中期的な重点目標に据えた「持続可能な多文化共生の地域社会かながわの基盤づくり」の取組みを着実に進めるため、寄付者の皆様に次の4つの事業から使途を指定して頂ける寄付制度を設けております。ご厚意を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

- ① 多文化共生の地域社会かながわづくり
- ② 県民・NGO等との連携・協働による国際活動の促進
- ③ 国際性豊かな人材の育成
- ④ 学術・文化交流を通じた地域からの将来像の提案

※使途の記入がない場合は当財団で使途を決定させていただきます。

振込先（郵便振替）：00280-4-49894

公益財団法人かながわ国際交流財団

銀行振込をご希望の方はお問い合わせください。

TEL：045-620-0011

税制上の優遇措置が受けられます（法人税、所得税、住民税（横浜市））。

当財団は、2012年4月1日に公益財団法人へ移行しました。それに伴い、寄付には税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。

○タックスアンサーNo.1150 一定の寄付金を支払ったとき（寄付金控除）

<http://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1150.htm>

○タックスアンサーNo.5283 特定公益増進法人に対する寄付金

<http://www.nta.go.jp/taxanswer/hojin/5283.htm>

例えば、当財団に年間合計で3万円を寄付された場合、11,200円の税額控除を受けることができます（税額控除・所得控除の2つの方式があります）。

2014年度・「KIF NEWS」が変わります

財団では、このたび情報発信の方法を見直し、年4回だった「KIF NEWS」の発行を、来年度より年1回とさせていただきますことになりました。発行回数の変更に伴い、ページ数を増やし写真や図表も多く掲載することにより、財団の取り組みがより分かりやすく皆様に伝わるよう工夫いたします。また、財団賛助会員の皆様には、講演会や交流イベントなどの情報を別途タイムリーにお手元にお届けするようにいたしますので、どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

どうか今後とも、財団へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

twitter（ツイッター）
で発信しています！

事業の報告や有益な情報などをタイムリーにお知らせし、当財団をより身近に感じていただければと考えております。ぜひ“フォロー”をお願いいたします。

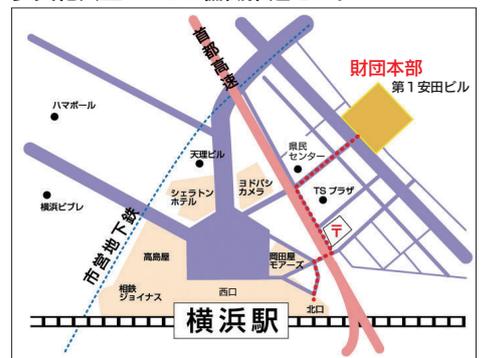
@KanagawaIF
@KIF_shonan_PR



かながわ国際交流財団（略称KIF）は…

市民レベルの国際交流・国際協力活動等を推進する中核的組織として、1977年（昭和52年）に設立されました。以来、時代とともに変化する県民ニーズにしっかりと応え、中期的な重点目標を「持続可能な多文化共生の地域社会かながわの基盤づくり」とし、県内各地で様々な事業を展開しています。

多文化共生・NGO協働推進センター（財団本部）



湘南国際村学術研究センター



広告を掲載しませんか？

本紙は、NGO/NPOをはじめ、図書館、公民館、パスポートセンター、高等学校、市町村の国際担当部署、教育委員会、区役所、県庁、財団賛助会員の皆様などに配布しています。（発行部数：5,000部）

広告の掲載に関する案内は次のホームページをご覧ください。
<http://www.k-i-a.or.jp/ad>
TEL: 045-620-0011

KIF 公益財団法人 かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation

ニュースター『KIF NEWS』 第36号

発行/公益財団法人かながわ国際交流財団

[財 団 本 部] 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第一安田ビル4階 TEL: 045-620-0011 FAX: 045-620-0025 <http://www.k-i-a.or.jp/> E-mail: tabunka@k-i-a.or.jp
[湘南国際村学術研究センター] 〒240-0198 三浦郡葉山町上山口1560-39 湘南国際村センター内 TEL: 046-855-1820~1822 FAX: 046-858-1210

印刷・DTP/有限会社 靑史堂印刷